

【プログラム】日本自殺総合対策学会 第4回大会 ～「孤独・孤立」を考える～
2025年3月11日（火） 13:00～17:00（総会17:00～17:30）

13:00	開会挨拶 椿 広計 学会理事長／統計数理研究所長
≪第Ⅰセッション≫ 子ども・若者の「孤独・孤立」を現場から考える コーディネーター：伊藤 次郎（特定非営利活動法人OVA 代表理事）	
13:10-13:50	孤立リスクの高い高校生へのアウトリーチ支援としての校内居場所カフェ 概要：生徒の苦しみや悲しみの眩きを拾いソーシャルワークへと繋ぐ校内居場所カフェの実践報告 石井 正宏 特定非営利活動法人パノラマ 理事長
13:50-14:10	18歳以降の児童福祉と他領域連携に向けて 概要：昨年の秋季講演会における「社会的養育のもとで育った子ども・若者の18歳以降のサポートの現場」報告、コーディネーターによる「相談窓口整備の必要性」の提起を踏まえ、18歳以降の児童福祉法と他領域連携の現状と課題について報告する。 林 星一 座間市福祉部参事 兼 地域福祉課長
14:10-14:50	Ⅰ部討論 石井 正宏 特定非営利活動法人パノラマ 理事長 林 星一 座間市福祉部参事 兼 地域福祉課長 伊藤 次郎 特定非営利活動法人OVA 代表理事
14:50-15:00	休憩
≪第Ⅱセッション≫ 「孤独・孤立」対策に取り組む実践的研究 コーディネーター：椿 広計（統計数理研究所長）	
15:05-15:25	市町村と連携した大学生へのゲートキーパー養成講座の効果の検証と地域展開（一般演題） 久久 愛 鎮西学院大学 総合社会学部社会福祉学科 准教授 山口 弘幸 鎮西学院大学 総合社会学部社会福祉学科 教授
15:25-15:55	現代の大学生や青年の生きづらさと孤独・孤立 概要：一見恵まれた環境にあるように見える大学生や青年が抱える、生きづらさや孤独・孤立の様相とその改善のための手がかりについて、学生相談の現場での臨床実践と調査研究から考える。 大塚 尚 東京大学 相談支援研究開発センター／学生相談所 助教
15:55-16:25	悩みがあったら相談に来てくださいーこの呼びかけの”弱点”は何か 概要：2008年から続けている自殺希少地域と自殺多発地域の比較調査から、問題の早期発見と介入を促す地域社会の在り方について考える。 岡 檀 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター 特任准教授
16:25-16:55	Ⅱ部討論 大塚 尚 東京大学 相談支援研究開発センター／学生相談所 助教 岡 檀 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター 特任准教授 椿 広計 統計数理研究所長
16:55	閉会挨拶 岡 檀 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター 特任准教授
17:00-17:30	総会